

高円寺駅周辺は鮮やかなデザインでいっぱい！

トランスボックス 30 基にラッピング装飾！

昨年12月から今年の1月、高円寺トランスボックスラッピング実行委員会は、JR高円寺駅周辺にあるトランスボックス（電力供給のための変圧器やスイッチなどが収納された構造物）にラッピングするデザインを募集する「まちなかアートデザインコンテスト@高円寺」を実施しました。この募集は、落書きの防止のみならず、高円寺の魅力をPRし、多くの人をまちへ呼び込み、にぎわいの創出へつなげることを目的として東京電力の協力を得て行われました。募集の結果、夏の風物詩「東京高円寺阿波おどり」をはじめとする、個性豊かなデザインが数多く集まり、最優秀賞2点を含む30作品を選定しました。今月24日には、入賞作品すべてにラッピングが完了し、道行く人を楽しませています。

トランスボックスは、電力供給のための変圧器やスイッチなどが収納されており、国土交通省が推奨している無電柱化に伴い、設置が必要となる機器です。しかし、トランスボックスは、落書きの被害に遭うこともあり、平成27年2月に行った調査では、高円寺駅周辺にある60基のうち、18基に落書きをされていることが分かりました。

一昨年、新宿区歌舞伎町では、トランスボックスにラッピングを実施したところ、落書きがなくなったという実績があり、東京電力からも同様な取組実施について了解が得られたため、特定非営利法人東京高円寺阿波おどり振興協会は、昨年7月、高円寺にゆかりのあるデザイナー3名へ「東京高円寺阿波おどり」にちなんだデザインを依頼し、区が駅周辺にあるトランスボックス3基にラッピングを実施しました。



すると、落書きがされなくなったことに加えて、街中に突如現れた高円寺らしいデザインに多くの人から好評を得ました。そうしたことから、国の地方創生交付金事業を活用し、さらに拡大し設置していくこととし、地元の町会・商店会が中心となり、高円寺トランスボックスラッピング実行委員会が立ち上がり、平成27年12月1日から平成28年1月22日まで、企業、団体あるいは個人やグループ、年齢、性別、職業、国籍などを問わず、広くデザインを募集することにしました。

テーマは、約100万人の来場者を誇る「東京高円寺阿波おどり」と、文化・芸術を発信し続ける魅力的なまち「高円寺の文化」です。

募集の結果、146点もの応募があり、厳正な審査の結果、最優秀賞2点、優秀賞4点、高円寺賞24点、合計30点が決定しました。集まったデザインは、高円寺阿波おどりをポップなタッチで描いたものや繊細に表現されたものなど、さまざまな文化を発信し続ける街、高円寺にふさわしい色とりどりのデザインが施されています。

24日には、30基すべてにラッピングが完了し、街を通りかかる多くの人が足をとめ、色鮮やかなデザインを楽しんでいます。

【報道機関 問い合わせ先】

都市整備部まちづくり推進課 電話 03-3312-2111

総務部広報課 電話 03-3312-2111